

単元名:ペルーの友だちと仲良くなろう		
氏名:岩下 萌	学校名:京都市立朱雀第七小学校	
担当教科:全教科	実践教科:総合的な学習の時間	
時間数:40時間	対象学年:5年	人数:40人
使用教材:ホセ・ガルベス校の児童の夢の絵、ペルーのことを伝えるスライド、ペルーの食べ物等		

【実施概要】

【1】単元の目標		
<p>外国の文化を知ったりペルーの友だちと交流したりすることを通して、国によって様々な文化があることや違い、日本の文化の魅力が様々にあることを理解し、仲良くなるためにはどうしたらいいかを考え、互いに尊重し合う態度をもって主体的に交流し、これからも多文化共生のために自分にできることを考えることができるようにする。</p>		
【2】単元の評価規準	(ア) 知識・技能	それぞれ大切にしている文化や価値観があることを理解している。相手や場面に応じて、適切な表現方法があることを理解している。
	(イ) 思考・判断・表現	課題の解決に向けて、見通しをもって計画を立てている。国際理解や多文化共生について、根拠をもって自分の考えを深めている。学習を通して学んだ自分の思い、学びによる自己の変容等、自分の考えをまとめ表現している。
	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度	国や地域の異なる文化や価値観を受け入れ、尊重するとともに、共通性を見出し、よさを取り入れようとしている。友だちと役割分担をしたり、自他の考えを活かしたりしながら、地域の一員として自分にできることを考えようとしている。
【3】単元設定の理由	<p>校区は、多くの外国人の方が暮らし、観光客も多い立地である。子どもたちは、素直な子が多く、何事も一生懸命取り組むことができる。さらなる成長を目指し、自分の思いを発信するなど、自ら考えたことを行動に移して行ってほしいと願っている。この単元を通して、「外国人と仲良くなるにはどうしたらいいのか」ということを、単元を貫く問いとして、体験や協働することを通して、自分の考えをもち、考えを深めたり広げたり、更新して行ってほしい。また、外国人と仲良くなるには、その国の文化や価値観を知り、認めること、伝え合う時には相手の立場や考えを考慮し尊重しようとする意識(相手意識)をもつことなど、「仲良くなりたい」「知りたい」「知ってほしい」という気持ちを大切にしてお互いに関わってほしい。</p> <p>ペルーで訪問したラ・ビクトリア校の小学5年生、つまり外国に住む同じ年の友だちと何度か交流をする。その中で「外国の人と仲良くするために大切にすることは何か?」について考えを深めていきたい。交流するために必要なことを考える際には、JICA海外協力隊でサモアに派遣されていた方(ゲストティーチャー、以下「GT」)に来ていただき、そのときの困りやどのように意見を伝え合っていたのかなどを話していただく。子どもたちの「どうしたらいいだろう?」という疑問が生まれたときに、お話を聞く機会を設定し、自分事となるようにしていきたい。ラ・ビクトリア校の小学5年生との交流は、一度だけではなく複数回設定することで、交流をふり返ったり、改善したりして行ってほしい。また、この学習の終わりには、ラ・ビクトリア校の小学5年生と仲良くなることだけにとどまらず、これから出会う外国の人との関わりについて自分事として考えてほしい。</p> <p>学習を通して、どのようなことを考えたのか、これからどうしていきたいのかなど、自分の思いや考えを具体的に書けるようにどの教科でも取り組んできている。特に総合の学習では、子どもたちの思いや考え、願いから学習が進んでいくように意識している。また、友だちやGTの方など、人との関わりを通して、自分の考えがどう変容したのか、自分の考えと比べてみてどうだったのかなど、具体的に書くように声を掛けている。本単元でも、話し合いの中で自分の考えがどう変容したのか、またそれは誰のどのような言葉がきっかけだったのかなど、自己の学びを明確にして調整していけるようにしていきたい。</p>	

【4】展開計画(全40時間)			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1~5	<p>【発見課題】</p> <p>ペルーってどんな国だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ペルーの位置や気候などの基本情報を知り、ペルーの生活に興味関心をもつ。 自分の興味のあるペルーの文化について調べたり、授業者の見てきたペルーについて知ったりすることを通して、ペルーの生活や文化に興味関心をもち、日本との相違点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図やペルーの写真などをもとに、自分の調べたいことを見つける。 自分の興味のあるペルーの文化について調べ、交流する。 授業者の見てきたペルー(ペルーの気候、食文化、街並み等)について知り、日本との相違点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図やペルーの写真のスライド ペルーで撮った写真のスライド ペルーのお菓子や食べ物、置き物 スペイン語で書かれたチラシ ペルーの民族衣装、楽器 振り返りシート
6~16	<p>【追究課題】</p> <p>もっと知りたいペルーのこと。友だちのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちとの交流を通して、どうしたら仲良くなれるのか、伝えたいことが伝わるのかを考える。 京都のよさを伝える活動を通して、改めて京都のよさを感じることができる。 GTのお話を聞くことを通して、相手意識をもったり、仲良くなりたいたいという気持ちをもったりすることの大切さを理解する。 友だちと役割分担をしたり、自他の考えを活かしたりしながら、学習を進めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちの夢について知り、自分たちの夢と比べ、感じたことを交流する。 ペルーの友だちの「京都について知りたい」という思いを聞き、どのようにして何を伝えるのか、計画を立てる。 ペルーの友だちに動画で京都について伝えるときには、何を大切に伝えるとよいかを考える。 伝える内容ごとのグループに分かれて、伝える準備をする。 JICA海外協力隊で派遣されていた方(GT)から、外国の友だちに伝えるときに大切にしていたことや多文化共生についてのお話を聞く。 GTのお話をもとに、伝え方を考え直し、動画を撮る。 ペルーの友だちから、ペルーの文化や生活について聞く。 ペルーの友だちと一緒に作る歌について、計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちの夢の写真 ペルーの友だちからのメッセージのスライド  <ul style="list-style-type: none"> 「違う国には違う当たり前があることを知ろう」スライド ペルーの友だちからの動画 振り返りシート
17 本時	<p>【追究課題】</p> <p>もっと知りたいペルーのこと。友だちのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌の歌詞を、根拠をもって伝え合い、どの歌詞にするかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちと一緒に作る歌の歌詞を考え、根拠をもって伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちの写真 振り返りシート
18~21	<p>【追究課題】</p> <p>もっと知りたいペルーのこと。友だちのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちに自分たちの思いが伝わるように工夫して伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えた歌詞やその思いをペルーの友だちに伝える動画を撮る。 ペルーの友だちから返事の動画をもらい、自分の考えを友だちと交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの友だちからの動画・写真 振り返りシート

22~31	<p>【提案課題】 朱七万博を企画しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもって、学んだことを伝える適切な方法を考え、計画を立てる。 ・友だちと役割分担をしたり、自他の考えを活かしたりしながら、学習を進めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、学んだことや自分たちの思いを出し合い、誰に対して、どう表現するか計画を立てる。 ・相手意識をもって、朱七万博の準備をする。 ・中間報告会として、自分たちのグループの進捗状況を共有し、よりよい方法、内容に練り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート
32~37	<p>【熟成課題】 朱七万博を提案しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもとに、より良くしようと練り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの伝えたいことが伝わる方法や内容になっているのか、専門家の方に見ていただき、アドバイスをいただく。 ・アドバイスをもとに、練り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート
38~40	<p>【表現課題】 朱七万博を開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いが伝わるように工夫して伝える。 ・学習を通しての学び、学びによる自己の変容等、自分の考えをまとめ表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で他学年や保護者、地域の方に、自分たちが学習したことや学習して感じたこと、考えたことを表現する。 ・この学習を振り返って、感じた思い、自己変容したこと、自分の考えを表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表動画 ・振り返りシート
【5】本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入(7分)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確認める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 今までの学習をもとに、ペルーの友だちと一緒に歌う歌詞を考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を考えたときに何を大切にしたいか、視点を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の軌跡を側面掲示しておくことで、学習してきたことや考えてきたことなどを確かめられるようにする。 ・見通しをもち、視点をもって学習が進められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーの友だちの写真
展開(30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見を出し合い、ペルーの友だちと一緒に歌う曲の歌詞を考え、話し合う。 ・話し合ってから考えた歌詞とその歌詞を選んだ理由を全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてその言葉がいいのか根拠をもって話し合えるように、机間巡視をしながら声をかける。 ・話し合いが滞っているグループには、声をかけ、スムーズに進められるように適宜支援をする。 ・歌詞に込めた思いを全体で交流することで、これまでの学習をふり返ったり、ペルーの友だちとの交流について考えが深まったりできるようにする。 	
まとめ(8分)	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の見通しをもつ。 ・学習を通して思ったことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習の見通しがもてるようにする。 ・自分の思いや考えが表現できるように声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート

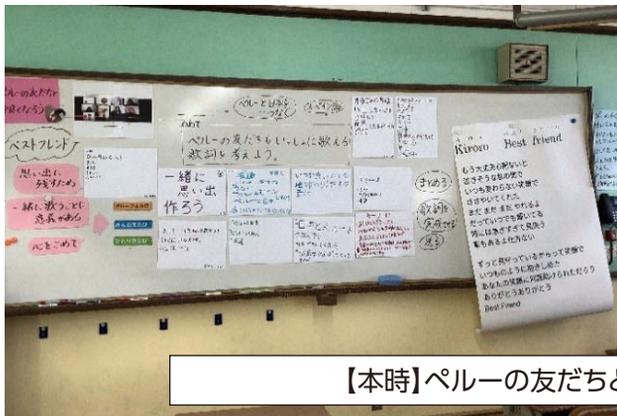
【授業実践の様子】



先生の見てきたペルーってどんなところ?(フォトランゲージ)



『違う国には違う当たり前があることを知ろう』(GTの話聞き、考えを深める)



【本時】ペルーの友だちと一緒に歌う歌詞を考える



【6】本時の振り返り

ラ・ビクトリア校の5年生と交流したこと、JICA海外協力隊で活動されていた方のお話を伺ったことをもとに、会ったことの無いラ・ビクトリア校の5年生と一緒に歌う曲の歌詞を考える活動をした。導入で何のためにするのかを確かめたことで、方向性を全体で共有できたと考える。歌詞を考える際には、グループで話し合う時間をとった。自分事として考えたり話し合ったりする姿が多く見られた。それは、交流している中でラ・ビクトリア校の5年生への思いが募っていたこと、そして児童に歌詞を考えるかどうかを議論させて、児童が「一緒に歌を歌いたい」「お互いの思い出に残すため歌詞は自分たちオリジナルのものがいい」という考えをもつことができたからだと考える。全体交流の場面では、歌詞に込めた思いや理由を出し合う中で、考えを深めることができていた。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

(児童の感想から抜粋)「はじめは日本とペルーは離れているから、似ているところがないと思っていたけど、ペルーの文化を知ったりペルーの友だちと交流したりして、似ているところも見つかったし、仲良くなれて嬉しくなりました。また、学習発表会でペルーのことや友だちのこと、交流したことを全校やお家の人に伝えて、知ってもらえて良かったです。」

「はじめは外国のことを知らないことが多かったけど、お互いの文化を知ったり共通点を見つけたりして、もっと仲良くなりたいと思いました。地球の裏側の友だちと交流ができたことがとても心に残っています。もし外国の友だちが転入生できたときには、日本の文化を伝えたり、その国の文化を聞いたりして、仲良くなりたいと思います。」

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

ペルーのラ・ビクトリア校の5年生の友だちと交流したことを通して、国や言語が違って、伝え合うことができること、一緒に一つのものを作ることに気付き、喜びを感じていたようだ。ペルーの友だちに限らず、身近な外国の友だちとも、お互いのことを教え合ったり、認め合ったりすることで仲良くなれることを知り、仲良くなりたいと前向きに考える様子が見られた。

【授業を通じた途上国・異文化・多文化共生等への意識の変容】

(授業前)

外国の人と関わることに不安を感じる児童が7割程度いた。「知らないから仲良くなれるか分からない。」「言葉が通じないかもしれないから不安。」という意見があった。

(授業後)

「外国の言葉や文化に興味があった。」「もっと外国のことや外国の友だちのことを知りたい。」「もっと仲良くなりたい。」など、外国の人と関わることに興味をもったり、前向きに捉えたりするようになった。

【8】自己評価

1. 苦労した点	一番苦労した点としては、ペルーのラ・ビクトリア校との交流に時間がかかったことである。日本語クラスの5年生との交流をさせてもらったため、言語面では困りがなかったものの、週に2コマしかないクラスだったため、動画を撮ってもらうのに時間がかかったからだ。担任と教科担任の自由度の違いや社会情勢等が影響していたと考える。
2. 改善点	交流は複数回行うことで、相手意識が生まれてくると考える。今回は2往復の交流をさせてもらい、児童の中でペルーや身近な国になったと感じたが、交流をさらに重ねられたら、さらに仲が深まり相手意識をもてたと思う。
3. 成果が出た点	交流したことをもとに、替え歌を考えた。歌詞を考える際には、根拠をもって考えている様子が見られた。また完成した替え歌や交流してきたことを学習発表会で披露し、全校児童や保護者に自分たちのしてきたことや思いを伝えることができた。その経験が児童にとって達成感のあるものであった。さらに、今後外国から来た友だちや外国にルーツをもつ友だちと、どのようにしたら仲良くなれそうか前向きに考える様子が見られた。
4. 備考	特になし

添付資料:

(使用したスライドから抜粋)



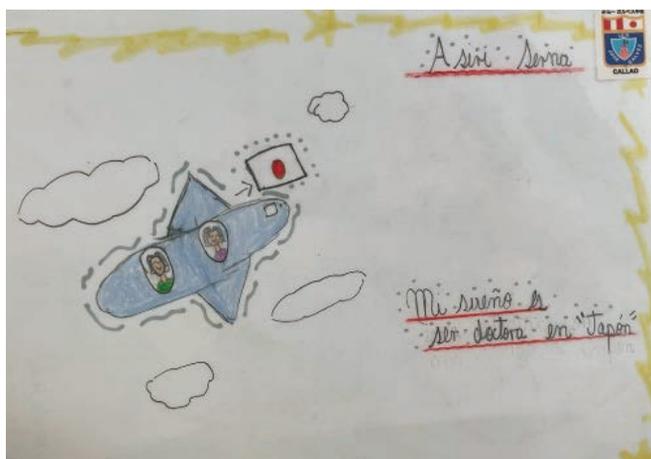
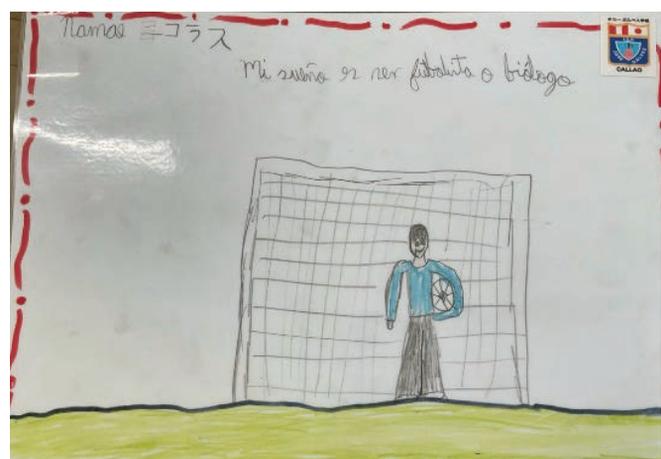
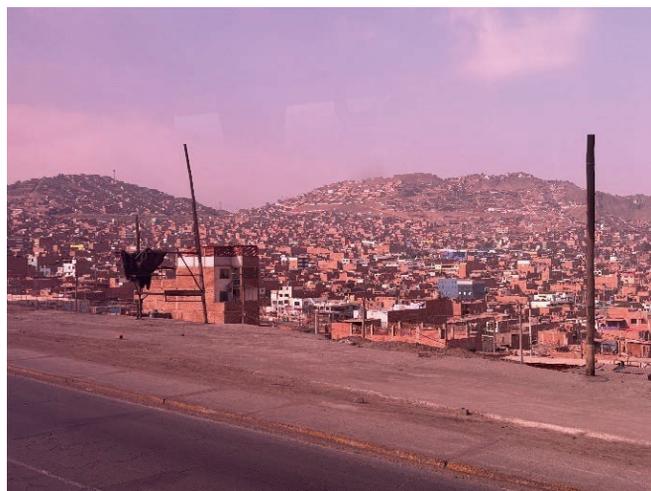
(ペルーの市場の野菜の写真)



(セビーチェの写真)



(ペルーの街並みの写真)



(ホセ・ガルベス校の5年児童の将来の夢の絵)